

道志摩國 いつもの同 古歌のいともく そて玄のうつせがい、なたかの遠 房、むおほのなかはま
 大きみのみほみほの駿 万、いほはらの、きよみがさきのみほの、かざはやのみほの浦といさはやの玄
 ことかしのみほみほのと云り、きよみがさきのみほの、かざはやのみほの浦といさはやの玄
 たの同 こぐ舟 あたごの田子は始古今、ふせの越申万、家持國司依可遊所也、海たこの同 こ有聚家の
 持國司興遊也、たかひめの水海也なこの鹿島万、非攝津國、海中にあり、伊勢にあり、是梨
 所也、水海也、たかひめの水海也なこの鹿島万、云、あまけのなごり、をふの有所也、なし、あり、是梨
 り、あを同万かとりの下總万、のつしかのま、のつしかのまつか讀、まつか浦波とよめるは讀岐也、光
 鹽がまの神御在所、古今とふの爲仲、新古のこの筑前万からとまりまつらの肥前ちかの信歌、たかしきの馬
 まのもみぢら玄かの筑前万、しの出羽新古、からの石万鶴、さたの石筑紫也、万み
 のふの馬内侍のさかの筑紫しまにゆかんとこの相模歌後まきの石ちえの秋風、万かたみの紀
 が萬崎鶴もなつみのまなつみの鶴すが去、まわかの衣石での万とばたの郭公、万そこひの同、万あめ
 すみの常なるるるの千わかの紀なみは湯なしとまみゆかたおほよど宮女御齋ふけるの清正た
 かしの、ありその越中よごの金頼いちしの成歌、新俊つもりの住吉也をくの玄のぶ陸か
 しひの佐あみの讀、万ちたの紀万あまつほの万、ゑとりの万玄まの筑前、つの、なし、かたな浦
 へり、いかせなぎのなぎとかもさあこぎか古歌つむがはまの能登の万月なるとの永縁あはでの
 雅常光陸 金あふせの對うき玄まのねぬなはの丹あさぢの對なさかの万、常陸、

(藻鹽草水邊) 浦付名所

伊勢浦 波の花はま荻、みるめ、疊、尋つる、鹽やくいもが家づと、あま 石浦 紀州、岩つ
 磯浦 越中、あさけの水組、異本にはあさけのと云々、磯間浦 紀州、神しまのまいそまのうらと
 生田浦 摄州、鹽あま、つり船、い 一し浦 伊勢あま、い 磯野浦 ひくあらあはぬ懸 出雲浦
 伊香浦 近江み 池浦 伊勢波に松に吹池のうきら風またか山、伊禰浦 丹波か波みぬ若め
 らいのう 濱名浦 遠江し 風、運浦 越前はちつみふうらき身はほろだにぶやみと錦浦 し
 かけのう おろし風、蓮浦 に聞かれのうらをゆきて身はほろだにぶやみと音、錦浦 しまに櫻柳貝
 いのう おろし風、蓮浦 に聞かれのうらをゆきて身はほろだにぶやみと音、錦浦 しまに櫻柳貝